

国立感染症研究所の役割・使命について

国立感染症研究所長
渡邊治雄

何時、どこで SARS や新型インフルエンザ(A/H1N1)の様な新たな感染症が発生するか
の予測は非常に難しい状況です。ひとたびどこかの地域で発生すると瞬く間に世界
全域に拡大してしまいます。いまや感染症は「一国の問題ではなく、世界の問題」と
して認識すべき課題となっています。国立感染症研究所(感染研:NIID; National
Institute of Infectious Diseases)の大きな使命のひとつは、そのような人類に脅威とな
る病原体(それによって起こる病気)の出現(人類の危機)を迅速に検知し、その拡大
を阻止するための対策に結び付く科学的な提言を国内外の関係者や国民の皆さん
に行うことにより、国民一人ひとりの健康を守ることに貢献することにあります。感染
研は、「国民のための研究所、国民に必要とされる研究所」であることを目指していま
す。

新しい病気(あるいは病原体)を検知することは、日常的な監視を続け、異常をいち
早く見抜く能力を培うことによって成し遂げられます。そのために日ごろから行ってお
ります感染研の主な仕事を以下に紹介します。

『感染症および病原体の発生動向調査』

「感染症法」のもとで 60 以上の感染症が保健所への報告対象となっています。地方
衛生研究所は患者検体から病原体を分離し、解析等を行います。感染研はそれらの
情報を受け取り、全国レベルの分析を行い、その結果を各都道府県に還元するととも
に週報(IDWR)や月報(IASR)として感染研のホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/>)
に掲載しております。さらに、感染研は、自治体からの要請に基づき、また感染症法
による積極的疫学調査として現場の調査を行うとともに、分離された病原体の詳細な
解析の支援を行います。このように日常的に感染症および病原体の発生動向調査を
行うことが異常な感染症の発生の発見の要となるため、地方衛生研究所と感染研と
の連携は重要なものとなります。

『国際的連携』

高病原性鳥インフルエンザ H5N1 や SARS などはアジアを中心に発生し、世界に拡大しました。また、新型インフルエンザ(A/H1N1)はメキシコで発見され、その後全世界に広がりました。世界のどこかで発生している感染症の情報をいち早く把握し、その信憑性、重要性を判断する必要があります。そのために、感染研は、正確な信頼できる患者情報および病原体情報を収集・分析する体制を構築しています；世界保健機関(WHO)などの国際機関や、感染症を担当する各国の国立研究機関(米国 CDC、中国 CDC、韓国 CDC/NIH、ベトナム NIHE、インド Niced, EU-CDC, 英国 PHA 等)との連携を強化して、そのパイプを太くしてきています。また、さらに、WHO 西太平洋地域委員会(WPRO)や東南アジア諸国連合(ASEAN プラス3)のメンバーとして積極的にアジア地域での感染症対策に科学的な側面から貢献をしてきています。

『調査、研究』

危機の時にその能力を発揮できるようにするためには日ごろからの準備が重要です。感染研には情報収集・解析部門、疫学調査部門、実験室での病原体研究部門に所属する職員(研究職；医学博士や理学博士等の学位を持つ専門家が約 320 名)がおり、それぞれの専門分野での仕事をしております。情報収集部門の職員は、感染症に関するメディア情報および論文として発表された情報の信憑性を分析し、その結果をホームページ等に迅速に載せています。疫学調査部門は集団事例等が発生した場合に現地に飛び、自治体の専門家とともに調査を行い、対策への支援をしています。実験室での病原体研究部門の専門家は、各病原体がどのようにヒトに病気を起こすのかの詳細な機序の解明を行い、その成果を、迅速に病原体を検出するための新しい方法の開発や予防・治療方法の開発に応用させています。また、開発された技術等を地方衛生研究所やアジア等の海外の研究機関に伝達しています。その成果は感染研のホームページの「感染研年報」でご覧いただけます。

『生物製剤等の品質管理』およびワクチン行政への支援

感染研の重要な役目としてワクチン等の生物学的製剤および血液製剤の国家検定(品質管理)があります。ワクチンによる予防接種は感染症を予防する手段として重要なものです。予防接種で免疫が付与されれば、感染したとしても発症しないか、あるいは重症にならないで済みます。最初に国で承認された製剤と同等の品質である

ことが国家検定により保証された製剤のみが、市販され使用されています。その品質管理の責務を感染研は担っています。

『終わりに』

感染研は、厚生労働省が管轄する我が国唯一の感染症に関する総合的な研究を行う国立機関として、国が行う行政対応を科学的側面から支援しています。そのために必要な研究能力をもつ科学者集団として、国民一人ひとりの健康を守るために活動しています。